



みんなが会いに来て、
みんなを元気にする女将である。

旅館業とはまったく無縁の家で生まれ育った青木由紀子さん。三十年余も女将として活躍し、宿泊客はもちろんのこと地域の人びとからも「明るく元気な頑張り屋さん」の定評を不動にしている。湯梨浜町商工会の女性部長としても大奮闘の日々だ。「幼いころはいつも人のうしろに隠れている子どもだったので……」、今があるのはまさに「仕事で人を鍛えた」見本である。二〇一四年のこと、商工会女性部が中心になってオリジナル手作り弁当を開発した。その名も「天女からのおくりもの」。地元食材を使った湯梨浜ならではの味覚を連ねたこの弁当の開発ストーリーを、女性部長として中国・四国ブロック大会で発表することになった。たいへんなプレッシャーだったが、結果はみごと1位！

「もちろんみなさんの力の集結によるものですが、聴衆二千人の前でステージに立って発表したことで私はすっかり度胸がすわりました。もう怖いものなし、みたいに」

二〇一六年十月二十日に鳥取中部地震に見舞われ、旅館も小さくない被害を受けた。が、度胸がついた女将は、「なんとかなる、たいしたことない」と自らに言い聞かせ、心乱さず復興を進めていった。

「ゆの宿彩香」の常連客が口をそろえて言うのは、この宿の徹底した清潔さである。「ほんとに掃除が行き届いているね」。それこそが働き者の女将の、いや従業員同のいちばんうれしい評価だ。

ゆの宿彩香
青木由紀子

ゆ
う
ゆ
う、
ゆ
り
は
り
ま

